

広島大学では SDGs の目標達成を 1 つ大きな柱にして研究教育活動を行っています。

本竹原ステーションではその目標 14「海の豊かさを守ろう」の達成に向けて日々研鑽を積んでいます。

カブトガニの保全に向けた調査もその 1 つです。竹原市にあるハチの干潟に生息するカブトガニの生態を通して、干潟や藻場と人間社会との関連性を中国新聞が掲載してくれました。彼らの生息は人間にも間接的に大きな関わりを持っているのです。

(デジタル版：2022 年 10 月 19 日：<https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/224645>)